

## 第 2 期 枚方市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査の概要（案）

### 1. 目的

本市においては、子ども・子育て支援法第 61 条第 1 項に基づき、「枚方市子ども・子育て支援事業計画」（平成 27 年度～平成 31 年度）を策定し、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

今般、平成 32 年度を始期とする第 2 期計画（平成 32 年度～平成 36 年度）を策定するにあたり、現計画と同様、国が示す考え方にに基づき利用状況把握調査を実施するよう内閣府から通知がありましたので、「第 2 期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出の考え方（以下、「国の考え方」とする。）」を踏まえ、以下のとおり、ニーズ調査を行うものです。

### 2. 調査の対象・方法等

調査名称	対 象 (全て保護者)	調査件数	調査期間	実施方法	項目数	調査票の様式
①子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (就学前児童)	就学前児童 (0～5歳)	歳児ごとに約 500 (計 約 3,000)	12月中旬 ～1月 (予定)	無作為に抽出した被調査世帯に、 <u>郵送により調査票を配布し、郵送により回収</u>	約 80 項目	資料 8-1 のとおり
②子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (小学生)	小学校児童 (1～6年生)	約 3,000		無作為に抽出した被調査世帯に、 <u>郵送により調査票を配布し、郵送により回収</u>	約 75 項目	資料 8-2 のとおり
③子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (幼稚園児)	幼稚園児 (満 3 歳～5 歳)	約 2,000		<u>市内の公私立幼稚園を通じ、調査票を配布（歳児別で 1 クラスずつ）し、郵送により回収</u>	約 15 項目	資料 8-3 のとおり

※①と③については、同一家庭に重複して配布される場合があります。

#### ●将来の子育て等に関する意識調査（高校生調査）について

現計画策定時のニーズ調査においては、市内高校生約 1,000 人に対し、結婚意向・結婚したい年齢や、出産意向・出産したい理由やしたくない理由など約 10 項目を調査しました。しかしながら、本調査においては、一部の高校から回答を得られなかったこと、また、別に内閣府が、「結婚・家族形成に関する意識調査」として、20 歳～39 歳の方を対象に、上記の質問項目に加え、結婚生活を送る上での不安要素や、妊娠・出産に積極的になる要素などについて具体的な調査を行っていることから、今回は実施しないこととします。

### 3. 調査項目の設定の考え方

現計画の作成の際に、国から提示された「量の見込み」の算出等の手引きを基本としつつ、「国の考え方」で新たに示された内容や、第2期計画策定にあたって効果的なニーズ調査とするため、以下のとおり、調査項目等を追加します。

#### ①幼稚園の利用希望に関する設問について

「国の考え方」における指示事項に基づき、正確に幼稚園ニーズを把握することを目的として、利用したい施設やサービスとして、「幼稚園」に加え「保育所」等の利用も希望する方に対して、「特に幼稚園の利用を強く希望するか」の設問を追加します。

#### ②「0歳児保育」の量の見込みを算出するための設問について

「国の考え方」における指示事項に基づき、「子どもが1歳になった時に必ず保育所などに預けることができれば、1歳になるまでに育児休業を取得したいかどうか」の設問を追加します。

#### ③保育料の無償化（平成31年10月1日実施予定）の影響について

平成31年10月1日から実施が予定されている「保育料の無償化」について、国が示す現時点の制度内容を調査票に記載し、今後の状況変化も踏まえた回答が得られるよう対応します。

#### ④子どもの貧困問題に関する設問について

現計画では、「子どもの人権擁護の推進（施策目標6）」など、様々な課題を抱える子どもへの対策を明記していますが、近年、子どもの貧困が社会問題となる中、本市では、平成28年度に大阪府と府内13市町と共同で「子どもの生活に関する実態調査」を行ったところ。「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、都道府県に「子どもの貧困対策計画」策定の努力義務が課されており、本市においても、このたびの「第2期計画」において、子どもの貧困も含めた様々な子どもの課題への対応策を検討していく必要があるため、関係する設問を追加します。

#### ⑤「放課後子ども教室」に関する設問について

子ども・子育て支援事業計画では、「放課後児童対策の充実」が推進する取り組みの1つとなっていますが、現在、本市において、「放課後子ども教室（全就学児童対象）」のモデル事業に取り組んでおり、本調査において、その利用ニーズ等に関する設問を追加します。